

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	「世界の夜ごはん」プロジェクト～多文化共生の学びと居場所づくり～
2. 活動国・地域	日本（主な活動地域：神奈川県横浜市）
3. 事業分野	□開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 ■日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	食を通じた国際交流を入口に、地域における多文化共生への理解を自然な日常の交流の中で深めることを目標とする。世代・国籍・文化背景の異なる人々が安心して参加できる交流の場を継続的に創出し、誰もが自分らしく地域とつながれる多様性に開かれた地域社会の形成を目指す。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	横浜市西区東ヶ丘を中心とする地域では、外国にルーツを持つ人々が増加する一方で、日常的に地域住民と自然に交流できる場は限られている。特定非営利活動法人 Connection of the Children (CoC) は、これまで多文化共生の拠点「CASACO」を運営し、「世界の朝ごはん」をはじめとした食を通じた国際交流イベントを150回以上開催してきた。一方、朝の時間帯では参加が難しい社会人や夜間に孤立しやすい層へのアプローチが課題となっており、夜の時間帯に安心して集える居場所へのニーズが高まっている。こうした背景を踏まえ、新たに「世界の夜ごはん」事業を立ち上げ、より多様な参加者が交わる場を創出する。
6. 事業の意義・目的	本事業は、単なる食事提供ではなく、外国にルーツを持つ人々が自らの文化や経験を語り、地域住民がそれを受け止め、対話を重ねることを重視する。食という身近なテーマを通じて、異文化への理解や共感を育み、違いを前提とした関係性を地域の中に根づかせることを目的とする。特に子どもたちにとっては、多様な価値観に触れる機会となり、世界を身近に感じ、他者を尊重する感覚を育むきっかけとなることを目指す。
7. 主な対象者（受益者）	地域住民、地域に暮らす外国にルーツを持つ人々、（間接的受益者）本事業の取組を参考に、同様の多文化共生事業を展開する日本全国のNPOや地域団体等
8. 実施期間	（西暦）2026年7月～2027年6月
9. 活動内容	1. 事業準備及び広報活動：チラシ作成、SNS発信、地域団体との連携による参加者募集を行う。 2. 「世界の夜ごはん」イベントの実施：月1回程度、外国にルーツを持つゲストを招き、料理と文化紹介、対話を中心とした交流イベントを実施する。 3. 成果の記録・共有：活動記録、参加者アンケート、写真等をもとに成果を整理し、SNSやWebサイト、成果報告セミナー等を通じて共有する。
9. 事業費	1,415,000円（うちJICA基金活用事業申請額：1,000,000円）
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非営利活動法人 Connection of the Children
2. 主な活動内容	特定非営利活動法人 Connection of the Children (CoC) は、「全ての子どもがやりたいことを見つけ、それに挑戦できる社会」と「国籍や文化、障がいに関わらず誰もが温かい気持ちで繋がれる社会」の実現を理念に活動している。多文化共生の拠点「CASACO」を運営し、食を通じた国際交流イベント「世界の朝ごはん」や、子どもが主体となって運営する「子どもがつくる食堂」など、地域に根ざした体験型の学びと居場所づくりを行っている。これらの取り組みを通じて、子どもから大人まで、多世代・多国籍の人々が自然に交わる地域コミュニティの形成を進めている。